

夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 議事要旨

会議名	夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第 9 回）
日時	平成 31 年 5 月 15 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分
出席	藤本知香、秋元洋子、井村良英、畔田世紀子、井土満、進藤祐貴子、安部芳絵、宮田章子、米原立将、石井直行、坂下香澄、佐藤米子、市村仁、山中ゆう子、栗原一雄、田中美保、上原明日香、松本零 （委員名簿記載順・敬称略） [事務局]横塚子ども家庭部長、伊藤子育て推進課長、石井、海野 [株式会社地域計画連合]相羽主任研究員、柳坪主任研究員
欠席	田中史子、唐亀康司、小畑くるみ、高原麻子、小川素直、進藤真莉恵、飯田飛鳥、齋藤陽璃、丹野日和
配布資料	(1) 委員名簿（令和元年 5 月 15 日現在） (2) 第 4 次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン市民意向調査報告書・別冊 (3) 第 3 次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン振り返り結果シート
会議場所	立川市役所 2 階 208・209 会議室

1. 委員の任命について

- ・新たに 3 名を任命。

2. 市民意向調査の報告について

- ・事務局より資料（2）市民意向調査の主な結果について報告。

3. 第 3 次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン 現計画の総括と市民意向調査の検証

- ・前回の推進会議に引き続き、3つの班にわかれてグループワークを実施。また、同時に資料（2）を参考に資料（3）に基づき、第 3 次プランの総括として「市民ができること」や第 4 次プランでの課題等を議論した。

【主な意見】（各班の発表）

（1）1 班（施策目標 1 と 6）

- ・施策目標 1 「子どもの権利を尊重します」に関して。

子どもの権利条約については、子どもの権利はある程度尊重しているが、条約自体を知らないと回答された方が多く周知が課題である。また、子どもと保護者で、子どもの権利の尊重に当たり心がけたいことや大人に心がけてほしいことについて、考えている事が異なっている。

- ・施策目標 6 「地域のあらゆる構成員が連携・協力して事業を推進します」に関して。

子ども本人に対する設問で、「あったらいいな」という場所について、子ども本人はゲームやインターネットができる部屋などを挙げている。大人が提供したいものとは差があるのではないかという意見があった。居場所を提供する際は、世代別、地域別にニーズを十分に調べた上で実施する必要がある。

地域の担い手については、町会や自治会の担い手の高齢化が進んでいる中でどういう形で

確保するかが課題である。企業に関わりをもっと持って頂けるような仕組みができればよいのではないかという意見が出された。

(2) 2班（施策目標2と4）

- ・施策目標2「ひとりひとりに応じた＜子育て＞を支援します」に関して。

アンケート結果は、数値や割合の多少だけでなく、自由意見も見ることが大事。居場所については、外ではなく、インドアを希望する意見が多く見られるとの意見があった。

子育てひろばの利用状況については、未就学児はひとくくりで出しているが、年齢別に見る必要がある、という意見が出された。

- ・施策目標4「ひとつひとつの家庭に応じた＜子育て＞を支援します」

未就学児において「一時預かり」や「病児保育」に預けたいと思わない、という回答が多かったが、これは実際と乖離しているのではないか。本当は預けたいが、混んでいてとれない、利用料金が低い、といった理由で預けることができないのではないか、という意見があった。

(3) 3班（施策目標3と5）

- ・アンケート結果で気になった点。

ひとり親家庭は全年齢で結果を出しているが、子どもの年齢によって抱えている悩みなども違うのではないかと意見があった。

SNSでやりとりをしていて知らない人に会ったことがある、という人が思った以上に多いまた、それほど突出して多いわけではないが、ご飯をひとりで食べている人が一定数いる、アルバイト代を家庭に入れる子がいる、といったことも印象的であるとの意見があった。

- ・施策目標5（1）「配慮を必要とする子どもや家庭を支援します」に関して。

ひとり親家庭における養育費の受け取り状況については、例えば、明石市で、市が養育費の受け取りを保障する制度が始まったらしいので、市でできることがあるならば、応援することができないだろうか意見が出された。

放課後の子どもたちの過ごし方については、特別支援の子どもたちが入っていないのではないかという話になった。彼らの状況を考えると、このアンケート結果とは違ったものがでてくるのではないか、自由記述もふくめて引き続きみていきたい、という意見があった。

【主な意見】（各班の報告を受けての意見・質問）

- ・（アンケート設計の際に追加してもらった設問だが）家庭における手伝いで、祖父母や弟・妹などの家族の世話をしているという子どもが少数であるものの立川市にもいるということがわかった。

- ・意見の中で、虐待やいじめではないかと推測されるものがある。これについては、事務局としてどう対応するかお伺いしたい。何らかのアクションがあっても良いのではないか。

4. その他

(1) 事務局より、「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム 2019 立川の実行委員として、山中会長を選出したことを報告した。

(2) 各委員からの報告：

- ・ C³ for Children's Rights で今ウドラ基金からお金をいただいて、子どもの権利を啓発するクリアファイルを作成中である。先日デザインの方向性が決定した。
- ・ たまがわ・みらいパーク企画運営委員会では 4/21 に総会があり、新年度がスタートした。春休みに行った子ども食堂については次回ご報告する。今後、市役所でのキャラバンがあるので、またお知らせをする。

(3) 次回の予定

- ・ 事務局より予定を連絡。

以上